

2024年度 公益社団法人 五所川原青年会議所
事業報告
収支決算書
庶務報告

2024年度をかえりみて

2024年度理事長 石田 潤

本当に長かった1年でした。

なぜか、想像以上のスケジュール。内部問題。内部外問題への対応。

充電はいつも1日で残り3パーセント。60周年への圧力がかったからかもしれません。

覚悟が足りなかったかもしれません。しかし、このプレッシャーを支えてくださった皆様がいなければ石田潤がつぶれたかもしれません。かえりみるとすべてに全会員の皆様との交流と笑顔、冗談などの力があって今年度を終えることが出来ました。人間が一人では生きていけないと聞いたことがあると思います。これは本当に事実の言葉であると実感しております。こんな仲間に出会えた五所川原青年会議所の過去を振り返り感謝し、現在を突っ走り、未来は笑顔と希望しかないと感じたこの1年。2024年度の会員は最高のメンバーでよかったこの1年。感謝感激、感激感激、雨あられ！

総務委員会

副理事長 川浪 剛功

本年度の総務委員会では新年祝賀会・役員選考委員会選挙以外に60周年式典・記念事業の担当として活動して参りました。その中で退会者を2名出してしまったことは私の力不足でありました。大変申し訳ございません。60周年式典・記念事業では現状の五所川原青年会議所の現状が分かる結果となりました。その中でも協力していただいた委員会メンバーや会員の皆様には感謝の気持ちしかありません。これからの当会の活動が10年20年と続いていくよう今年度を反面教師として見ていただければと思います。1年間ありがとうございました。

奥津軽虫と火まつり委員会

副理事長 佐々木 康幸

今年について端的に感想を述べるとすれば「とんでもない役職を請け負ってしまったな」です。予定者段階で任を受けた際も、3月4月と議案を作っている際も、5月6月と製作や河原準備に取り組んでいる際も、事業が終わった後も、そしてこの文章をしたためている今もなお、です。

私自身、入会が2021年秋、2022年は委員、2023年にはまちづくり委員長、そして今年は当会の最大規模の事業である「奥津軽虫と火まつり」です。

製作部会長の経験も河原部会長の経験も現場工事の経験もなく、これまで比較的熱心に事業に2年参加してきた経験だけで高を括ったのがそもそもの過ちの始まりでした。

今年大変だったのは全て私自身に責任があるのです。経験豊富な会員やOBに頼りきれなかったこと、これで大丈夫だろうと思ってしまったこと、理事会の答弁でつつがなく逃げき

れてしまったこと、などなど至らぬ点多々、ありました。

それでも事業をやり通せたのは、茨道の中、一緒に駆け抜けてくれた大澤委員長（佐々木はゴールできませんでしたが）を始め、若手同期で固めた部会長陣の頑張り、そして現役会員・シニアクラブの皆様ののおかげであると、再認識しているところでございます。

皆様には改めて感謝の意を述べさせていただきます。

続きます。今年新たに取り組んだ事業のことがまだでした。

大澤委員長が主に担当した JC サポータークラブの設立。名目はコミュニケーションコストの効率化を求めていることではありますが、一方で地域に触れたい・貢献したいという若い世代に対して様々な成長の機会を提供するための連絡窓口になり得ることがとても有意義に感じました。

相内の虫おくり交流事業では参加人数こそ少なかったものの、奥津津軽虫と火まつりに全く引けをとらない魅力的なお祭りであったと肌で感じています。祭りとは何かを学ぶ良い機会となりました。

五所川原高等学校 1 学年に向けて、まつり文化や地域への意識の向け方について講演する機会をいただき、若い世代の感覚に触れ、そして自分自身も地域に目を向け直す良い機会となりました。

非常に大変な年ではありましたが、普段の自身からすれば全て非日常的な体験であり、青年会議所でしか得られなかったであろう経験だと思います。

五所川原青年会議所の事業は県内でも随一のハードワークです。異常です。今年は平均在籍年数が大きく低下し、理事経験者も少なくなる中でも会員一同が力を合わせて多くの事業を成し遂げたことは、五所川原青年会議所のポテンシャルの高さを証明するものでした。

その上で、これから理事として新たな一步を踏み出す皆さんへ伝えたいことがあります。

困難な道のりであっても、その先には地域を変える力があり、そして何より、自身を大きく成長させる機会が沢山あります。今年、私たちが共に成し遂げた成果がその証左であろうと思います。どんな課題も、仲間と力を合わせれば必ず乗り越えられると信じています。五所川原青年会議所のメンバーであることに誇りを持ち、自信を持って新しい時代を突き進んでください。

結びとなりますが、五所川原青年会議所の未来がさらに大きな飛躍を遂げることを願い、私自身も引き続きブロック協議会から、そして LOM メンバーとして支えてまいります。

1 年間、ありがとうございました。

青少年育成委員会

副理事長 工藤 智哉

2023 年 8 月下潤、当時の石田理事長予定者から 2024 年は青少年育成委員会を任せたい。とお願いされたのが始まりでした。今年度、青少年育成委員会では 5 月定例会、じょっぱりロードと関連事業そして、親子 de 立佞武多を務めました。

初めてタッグを組む事になった野上委員長は青少年に対する想いが溢れており、予定者の段階にもかかわらず 5 月の事業とじょっぱりロードの構想を明確に持っていました。

昨年に続き、副理事長としての重責を預かり、自分でも事業を持ちながら委員長や委員会全体を管理しなければならない立場となったわけですが、自分の管理も出来ず 2 年連続で委員長にはご迷惑をお掛けしました。

そんな環境でも野上委員長は今までに無い 5 月定例会の実施、事業スケールはそのままに大幅な事業費削減に繋げたじょっぱりロードの開催など多くの功績を挙げておりました。

委員メンバーにも大変助けられての結果だったと感じます。

一方私の受け持ちの親子 de 立佞武多事業ですが、共催である商工会議所青年部との連携も初めはあまりうまく取れておらず、立佞武多運営委員会にもご迷惑をお掛けしました。そんな時に石田理事長の的確なアドバイス、高橋専務の行動力、川浪副理事長の発言力に大変助けていただきながらまつり当日まで漕ぎ着く事が出来ました。今年は市内幼稚園・保育園・小学校の希望者が参加する親子 de 立佞武多 3 日間、今年初の試みとなった五所川原第一中学校 3 年生による流し踊りでの参加が 2 日間とまつり期間中全てに出陣しました。囃子団体である礎会との連絡役を買ってでて頂いた桑田剛俊先輩や川浪副理事長には感謝しかございません。まつり期間中の大小のトラブルはありましたが、石田理事長の陣頭指揮により大な問題にならず対処できたのは良い思い出です。

理事長をはじめとするととても心強いメンバー、野上委員長率いる愉快で頼もしい委員会メンバーに支えられなんとか 1 年間を走り抜く事ができました。

野上委員長本当にありがとうございました。

2024年度 公益社団法人 五所川原青年会議所

事業報告書

事務局

【構成メンバー】

専務理事：高橋 溪太

事務局長：小野 顕成

財務局長：今 孝夫

【基本方針】

JCI 五所川原は「明るい豊かな社会の実現」に向けて運動を展開して参りました。しかし、時代とともに人材の価値が高まる昨今に於いて、当会の運動を発信するためには一人の力ではなく会員同士が連携することが求められます。事務局長はこれまで事務局の基本業務を中心として役割を担っておりましたが、事務局側ができることを今一度前向きに模索することで、委員会の垣根を越えた各種定例会と総会の構築や地域に向けて時代に即した情報発信をしていかなければなりません。

その為には、連携するための基盤となる事務局の基本業務に加えて、委員会と連携しながら SNS を活用して地域の皆様にいち早く当会の情報を発信します。そして、年に 2 回開催される「通常総会」と 1 年間を締めくくる「12 月定例会」を実施して会員の連携に寄与します。また、これまでお世話になった先輩諸兄姉と交流する「OB 交流会」と、新たな仲間と出会う「異業種交流会」を実施することで縁ある方との繋がりをより強固にして参ります。

連携とは 1 人の努力では生まれることはなく、仲間と共に行動して互いの良さを引き出し合うことで事業価値が高まります。仲間がいることへの感謝の心を忘れずに最良の青年会議所活動となるよう 1 年間邁進して参ります。

【事業報告】

○ 2 月通常総会「公益社団法人五所川原青年会議所 2 月通常総会」

開催日：2024 年 02 月 20 日（木）19:00～21:00

開催場所：五所川原市民学習情報センター

参加員数：（対内）公益社団法人五所川原青年会議所 2024 年度会員及び 2023 年度理事

今年度 21 名（正会員 19 名、仮入会員 2 名）

特別会員 01 名（佐々木監事 1 名）

前年度 特別会員 01 名（平田監事 1 名）

事業内容：2023 年度に於ける事業報告並びに収支決算書に関して慎重審議を行いました。
総会全体を通じて委員会活動の共有を行い当会の組織運営について共有を行いました。

○ 3 月定例会「OB 交流会」

開催日：2024 年 03 月 19 日（火）19:00～21:00

開催場所：FOREST BLUE

参加員数：対内）19 名、対外）シニアクラブ 13 名

事業内容：シニアクラブの皆様にも現役会員の自己紹介や定例会の周知を行い、交流を図りました。

○ 4 月定例会「異業種交流会」

開催日：2024 年 04 月 19 日（金）19:00～21:00

開催場所：FOREST BLUE

参加員数：対内）17 名、対外）9 名

事業内容：当会に新たな仲間を迎え入れるべく異業種交流会を実施しました。今回は参加者に有益な情報をお持ち帰りいただくべく第 1 部ではセミナーを取り入れた後に、第 2 部では食事を交えた交流会を行いました。

○ 9 月通常総会「公益社団法人五所川原青年会議所 9 月通常総会」

開催日：2024 年 09 月 29 日（木）19:00～21:00

開催場所：五所川原市民学習情報センター

参加員数：（対内）公益社団法人五所川原青年会議所 2024 年度会員

今年度 17 名（正会員 15 名、仮入会員 2 名）

特別会員 01 名（佐々木監事 1 名）

事業内容：2025 年度公益社団法人五所川原青年会議所の新体制が決議されました。

11 月事業「認証 60 周年記念誌」

開催日：2024 年 11 月 16 日（土）

開催場所：認承 60 周年誌記念式典でデータ配布

参加員数：なし

事業内容：これまでの歩みを振り返り、さらなる次代への飛躍を誓い、そして、これまで歴史を資料として残しました。

○ 12 月定例会「公益社団法人五所川原青年会議所 12 月定例会並びに LOM 内褒章」

開催日：2024 年 12 月 14 日（土）15:00～16:00

開催場所：FOREST BLUE

参加員数：対内）20 名

事業内容：2024 年度の事業を振り返り、2025 年度の新体制での基本方針・基本計画を会員に知って頂きました。

【かえりみて】

本年度は事務局として活動するにあたり、大きく分けて 2 つのミッションを理事長からいただきました。1 つ目は、年間を通じて定例会を開催していくこと、2 つ目は、公益目的に関する対応でした。

定例会に関して毎月のようにやることができましたので事務局、財務局がそれぞれ議案を担当することで、負担を分散しながら滞りなく実施しました。

3 月定例会は OB 交流会を行いシニアクラブの皆様、現役会員の自己紹介や定例会の周知を行いました。また、4 月定例会は神成講師をお呼びして社業と良好な人間関係の両立を題材に、青年会議所のメリットも含めてご講話していただきました。参加者からは『講話が聴けて良かった』『交流できてよかった』という嬉しいお言葉をいただきました。また、12 月定例会では来年度へバトンを渡し、メンバーの一年間の努力を労いました。

公益関係では 15 年間変えることのなかった公益目的変更を行うことができました。このノウハウはメンバーで受け継ぐことで運営をより強固なものにして参ります。

年間を通して縁の下での力持ちの委員会だったと思います。事務局が一つのチームとして活動できたことは喜びであり感謝で胸がいっぱいです。来年度もみんなで協力しながら楽しく邁進して参ります。



2024年度 公益社団法人 五所川原青年会議所

事業報告書

総務委員会

【構成メンバー】

副理事長：川浪 剛功

委員長：高橋 千恵子

委員：島谷 昌孝、吉田 富士雄、川浪 永、伝法谷 洋匡、木村 重太、
清野 晋太郎

【基本方針】

2024年度をもちまして JCI 五所川原は認承 60 周年を迎えます。先輩諸兄姉が「明るい豊かな社会」の実現を目指し守り続けてきた組織運営を維持継続するためだけでなく、より円滑に実行するために今一度学び、その上で現代社会に合わせたやり方を構築し、一人ひとりが理解を深め、さらに地域への感謝の気持ちと更なる貢献について考え行動できる精神力、行動力、人間力を磨きながら規律ある運営を実行していくことが必要不可欠です。

今年度は各委員会メンバーと連携し合いながら「新年祝賀会」をはじめ、各定例会セレモニーの設営や、「役員選考委員会委員選挙」など運営しながら規律ある組織運営を誰でもスムーズに取り組み JCI 五所川原として恥じる事がない様、質の高い学びの機会を作って参ります。そして、「認承 60 周年記念事業」や「認承 60 周年記念式典」にて改めてこの団体の存在価値や地域貢献について見つめ直す機会になる様、歴史を守り続ける向上心を高めることができる式典を開催していきます。

総務委員会は組織の規律を確保し示すものとして、今後のさらなる JC 活動への覚悟の表明、歴史の振り返りなどさまざまな要素から成り立つことを感じて頂き、青年のリーダーシップと地域貢献の乖離が生まれないような行動や「覚悟」を持ち、地域の発展についてさらに邁進して参ります。

【事業報告】

○ 1 月新年式典 「公益社団法人五所川原青年所 2024 年度新年祝賀会」

開催日：2024 年 1 月 13 日（日）17:00~18:30

開催場所：プラザマリユウ五所川原

参加員数：対内）25 名、対外）119 名

事業内容：「公益社団法人五所川原青年会議所 2024 年度新年祝賀会」開催

○ 7 月定例会「役員選考委員会委員選挙」

開催日：2024年07月23日（火）19:00～20:25

開催場所：五所川原市民学習情報センター

参加員数：対内 21名 対外 無し

事業内容：役員選考委員会委員選挙開催

○ 11月定例会「公益社団法人五所川原青年会議所認証60周年記念式典・祝賀会」

開催日：2024年11月16日（土）17:00～20:00

開催場所：プラザマリユウ五所川原

参加員数：対内) 23名、対外) 113名

事業内容：公益社団法人五所川原青年会議所認証60周年記念式典・祝賀会の開催

○ 認証60周年記念事業

事業内容：当会の認証60周年を記念した「立佞武多」の作成・祝賀会での発表

2024年度 公益社団法人 五所川原青年会議所 事業報告書

奥津軽虫と火まつり委員会

【構成メンバー】

副理事長: 佐々木 康幸

委員長: 大澤 慎司

副委員長: 貴田 祐吾

委員: 平山 智久、棟方 大輝、竹内 大介、成田 健斗、葛西 喬、山田 瀧仙、
澤田 佳純

【基本方針】

約半世紀もの間、「天下泰平」「国家安泰」「五穀豊穰」「悪疫退散」の祈りを込めて執り行い、語り、受け継がれてきた「奥津軽虫と火まつり」。昨今では疫病、災害の激甚化、農水産物の不作、海外での紛争など、地域・全世界でこれまでに類を見ない危機に陥っています。

このような情勢の中、地域の幸せを願うまつりにするには、地域の人と共に神事の意義を再認識し、地域の人と共に「奥津軽虫と火まつり」を発展させていくことが必要不可欠です。

そのためには、先輩諸兄姉および関係諸団体と協議を重ねながら、このまつりを継続していくための基礎を固め、確実に未来に繋ぐ手法の確立を行っていくと共に、「親善大使事業」や広報活動にも力を入れ、多くの人へ「奥津軽虫と火まつり」を広く学び伝えていきます。

また、より多くの地域の人を「奥津軽虫と火まつり」に巻き込んでいくと共に、安全に準備・運行する環境の整備を行います。

これまでのまつりの軌跡を学び、天下の安寧を願い、地域に愛され必要とされる「奥津軽虫と火まつり」を目指し・絶やさぬようにすることが必ずや「明るい豊かな社会」の実現に繋がると確信し1年間尽力して参ります。

【事業報告】

○ 「第52回 奥津軽虫と火まつり」

開催日: 2024年6月15日(土)

開催場所: 岩木川河川公園

参加員数: 対内) 23名、シニアクラブ) 13名、会場動員数) 4,000名(メディア発表)

事業内容: 「天下泰平・国家安泰・五穀豊穰・悪疫退散」を願う「第52回 奥津軽虫と火まつり」の開催。

○ 10月定例会「奥津軽虫と火まつりを振り返り、次年度へ繋げる会」

開催日：2024年10月24日（木）19:00 - 21:00

開催場所：市民学習情報センター

参加員数：（対内）17名

事業内容：奥津軽虫と火まつりの過去を振り返り、歴史や経緯を理解した上で、「これからの奥津軽虫と火まつり」の将来の姿、あるべき姿を想像し、会員一人一人が当該事業への理解を深め、能動的に事業に携われるようにする。

○ 「奥津軽虫と火まつり親善大使事業」

開催日：2024年4月25日（木）～6月15日（土）

開催場所：市内各小学校、アスパムにてTV出演

参加員数：（対内）35名、（対外）371名

事業内容：市内各小学校へまつりの意義や神事の大切さを伝える為の出前授業や、TVラジオ出演、市長表敬訪問等の広報活動を行う。

○ JCサポーターズクラブ設立

開催日：2024年4月1日（月）～11月30日（土）

開催場所：各事業の開催場所

参加員数：（対外）24名

事業内容：JCの年間事業に高校生がスムーズに参加できるよう年間ボランティアとして募集を行うことにより、JC側、学校側の負担を減らし、高校生の事情や希望も踏まえ、フレキシブルに事業へのアサインを行うことが目的となります。

また、若い世代およびその家族から青年会議所運動の理解を得られることにより、将来的に明るい豊かな社会を築きあげるための理解と支援に繋がるものと考えております。

○地域とまつり（五高講演）

開催日：2024年4月25日（木）、2024年5月2日（木）

開催場所：五所川原高等学校

参加員数：（対外）1学年約200名

事業内容：五所川原高等学校が2024年よりSSH（スーパーサイエンスハイスクール）指定校となりました。高校生が地域の課題に対してサイエンス的な課題解決に取り組んでいく上で、地域文化や地域の課題・現状に触れることにより、より地域にスコープした課題への取組を行えるよう講演を実施しました。

○相内虫おくり後援・交流事業

開 催 日：2024 年 6 月 8 日（土）

開 催 場 所：五所川原市相内地区

参 加 員 数：（対内）6 名、他（その家族）

事 業 内 容：津軽地方最古の虫おくりから地域に土着するまつりの様相を学び、
これからの奥津軽虫火まつりを実施する上で改善のヒントを得るために
相内青年団と交流し、相内の虫おくりを体験してきました。

【かえりみて】

私自身としては、二度目の奥津軽虫と火まつりの委員会に携わることとなりました。

経験豊富な委員会メンバーと会員の皆様のおかげを持ちまして、無事に親善大使事業、奥津軽虫と火まつりの本番まで行うことが出来ました。

また、本年度からスタートした「JC サポーターズクラブ」が次年度以降も継続してくれたらと願うばかりです。

携わって下さった皆様、ありがとうございました！



2024年度 公益社団法人 五所川原青年会議所

事業報告書

青少年育成委員会

【構成メンバー】

副理事長：工藤 智哉

委員長：野上 新一朗

副委員長：葛西 翔悟

委員：川村 優弥、高橋 裕、中元 郁美、古川 竜太、太田 竜昂、平山 厚生

【基本方針】

近年では、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等による影響がまだ続いている中、少子化や核家族化、デジタル化等の問題も加速している状況と思われます。それに伴い、現代の青少年たちは日々の学校生活で自然の中でのリアルな体験をする場や責任ある行動をとる力、対立やジレンマを克服する力の低下が懸念されます。私たち地域団体としては、青少年の健全な成長を願い、様々な策を考え、取り組むことが責務であり、青少年の健全な育成のためには、豊かな体験が必要です。

そのためには、「青少年の成長を支える体験」として自然の中でのリアルな体験をする場を創出し、参加することで地域の自然にふれ、人の温かさにふれ、そしてその経験が青少年たちの成長に繋がっていきます。本年も「じょっぱりロード 2024」を開催し、仲間とともに苦楽をともにし、励まし慰めあい自然の中でリアルな体験をし、その先にある感動を味わうことで仲間の大切さを知り、そして責任ある行動力を身につけ青少年たちの成長に繋がります。

この体験を通じて仲間とともにした時間は、青少年たちの成長へと繋がり、身についた経験はこれからの人生の糧となり、次世代の立役者へと成長する手助けとなります。そして生まれ育った地域の担い手となることと信じ取り組んで参ります。

【事業報告】

○ 5月定例会「みんなでわくわく農業体験」

開催日：2024年5月19日（日）7：00～16：00

開催場所：川浪茂氏所有の田んぼ（五所川原市藻川ペット火葬場付近）

参加員数：対内）19名、対外）21名

事業内容：自然の中でのリアルな体験として、農業体験を開催

○ 8月公開定例会「じょっぱりロード2024～OMOIYARIの旅～」

開催日：2024年9月14日（土）～16日（月）

開催場所：五所川原市内各所（川浪茂氏所有の田んぼ、五所川原神明宮など）

参加員数：対内）24名、対外）24名）、ボランティア）13名

事業内容：青少年の健全な育成を願い開催した徒歩修行の旅

○ 第1回ボランティア研修会

開催日：第1回2024年8月25日（火）10:00～17:00

開催場所：五所川原情報学習センター 視聴覚室、試歩（五所川原市内各所）

参加員数：対内）15名、ボランティア）11名

事業内容：ボランティア研修会

○ 第2回ボランティア研修会・参加者説明会

開催日：2024年9月1日（日）10:00～16:00

開催場所：五所川原情報学習センター 大教室

参加員数：対内）15名、参加者）20名、ボランティア）11名

事業内容：ボランティア研修会、参加者・保護者に対する説明会

【かえりみて】

2024年度の青少年育成委員会は5月定例会と8月定例会を担う役割でした。

スタート同時くらいから考えていた5月定例会で田植えをして8月定例会で稲刈りをする事業を実施できました。

5月定例会では定員には達しませんでした。21名の小学生に参加してもらいました。藻川コミセンにて五所川原神明宮の協力で抜穂祭を執り行い、田んぼへ移動しみんなで田植えをしました。参加者を含めJCメンバーも貴重な体験ができたと思います。

8月定例会では「じょっぱりロード2024～OMOIYARIの旅～」徒歩修行の旅を2泊3日で実施しました。参加者24名、ボランティア13名の5班編成で学習情報センターを出発し5月に農業体験した田んぼ目指しました。藻川コミセンでは抜穂祭～刈穂の儀～を執り行い、田んぼに移動しみんなで稲刈り体験をしました。終了後はバスで宿泊地の梵珠少年自然の家へと移動し、夕食はみんなでカレーを作って食べました。

2日目は刈取った稲を感謝の気持ちを込めてお祈りするため五所川原神明宮をめざし元気にスタート。ボランティアがみんなで刈取った稲を代表してお供えする姿は感動しました。その後、宿泊地の梵珠少年自然の家をめざし午後のスタート。到着後はご協賛いただいた肉や海鮮を囲みBBQをしました。

3日目最終日はゴールの学習情報センターを目指しスタート。到着後は完歩式を行い感動と達成感で涙するメンバー、参加者、ボランティア、保護者の皆様。そしてワタシ。様々

な思い出があふれ思い返してみるとこの事業をやってよかったなと心から思いました。

何年続くかわかりませんが青少年育成事業はなくしてはいけない事業だとおもいました。

無事に全員ケガ事故なく完歩できたのはJCメンバー、各部長、その他関係者のご協力があつてのことだと思います。

改めて2024青少年育成委員会担当副理事長の工藤智哉をはじめとする委員メンバーのみなさまありがとうございました。

